



新着図書案内



「砂漠の薔薇」 新堂 冬樹 著 幻冬舎（小説）

ハイソな奥様の輪に加わり、愛娘の“お受験”にのめり込む中西のぶ子。
その心の闇は、娘の合格でも晴れることはなかった一。

彼女はなぜ親友の娘を殺す必要があったのか？

平凡な主婦を殺人へと駆り立てた日常生活に潜む狂気を描く

衝撃のクライム・ノベル！！

<中央館・大須賀館・北公民館・改善センター所蔵>

「おやすみ、こわい夢を見ないように」 角田 光代 著 新潮社（小説）

「あたしはこれから人を殺しに行くんです」 かつてくり子が嫌悪した相手は
小学校の時の担任の先生だった。忘れたつもりでいたのに、まだ覚えていたなんて。
日々のなにげない場面にふと表れる、人間の怖さ。

憎悪は愛の裏返してこと？それとも、もったきまぐれなもの？

あなたの気持ちをざわざわと波立たせる、衝撃的な7つのドラマ。

<中央館・大須賀館・北公民館・改善センター所蔵>



「天国の扉」 沢木 冬吾 著 角川書店（小説）

家族への償いか逝ったものへの弔いか 絆を取り戻すために、男は太刀を打つ。
名雲草信流抜刀術 名雲修作。

妹の死。父の失踪。恋人との離別。死刑執行を強要する脅迫殺人の裏に隠された
真相は？ 守るべきものは何か？

愛する者との絆のありかを問う、感動のハードボイルド・ミステリー！！

<中央館・北公民館・改善センター所蔵>



「お腹召しませ」 浅田 次郎 著 中央公論社（小説）

入婿が藩の公金に手を付けた上、新吉原の女郎を身請けして遂電。

お家を保つために御留守居役が出した名案は「腹を切れ」。

妻にも娘にも「お腹召しませ」とせつつかれ、あとにひけなくなった又兵衛は一。

二百六十余年の太平で、武士の本義が薄れてきた幕末から維新にかけてを舞台に

名手が描く侍たちの物語。全6編。 <中央館・大須賀館・北公民館・改善センター所蔵>



「へいわのうた」 サム・ウィリアムズ 作 ミク・モリウチ 絵

中川 ひろたか 訳 （絵本）

いろんな声で いろんな気分で いろんな時に みんなでうたおう

へいわのうたをー

リズムカルな言葉とほのぼのとした絵が、平和への思いをつづる絵本です。

<中央館・北公民館・改善センター所蔵>

